



発行  
浮田地区コミュニティ会議  
電話& F A X  
0198-42-1681

タイトル画説明

雪の中に春を待つ色を探す。新緑にアウトラインが赤紫に見えるアイビーの葉、ガズミの新芽は紅色が縁取る苞に包まれ、マサキの実を支える枝は透明感のある黄緑。  
絵・文(実)



# ロケットストーブ 作ったぞ!

12月17日、浮田集会所に6名が集まり、ロケットストーブ講習会が行われました。事務局の藤井氏よりストーブの原理、作成の説明があり早速作成開始。会費三千元で材料、道具が全て揃っており、お互い作り方を教え合いながら全員が作成完了。完成後、用意していた眺めのストーブに火を入れ、完成しながら話していると「頑丈な物を作りたい」との声が出ていました。「どの声が出てもいいです」との嬉しい会となりました。

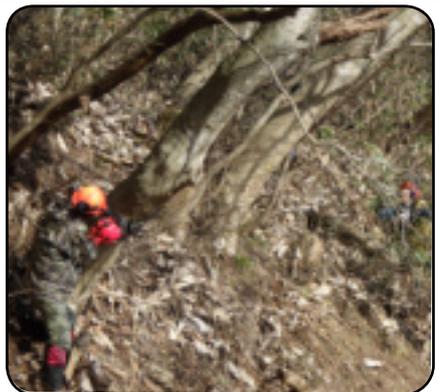


# 「伐木・つる切り作業」

11月26日、煙突倶楽部のメンバーによる伐木・つる切り作業が行われました。



一カ所目は宮田地内の旧中山道。両脇の木が道路にせり出しており、つるが絡んでいるため、伐木しても倒れないことから前処理と



してつるを切りました。

二カ所目は上中内地内の長洞バス停付近。ゴミ捨て場後ろの傾いている10本程の木を伐木しました。そのまま倒れてよくない木にはロープを張り、方向を変え上手に倒すことが出来ました。



管内には至る所にこのような状態の道路があり、地域の課題だと思われま。少しずつこのような活動を続ける必要を感じました。

(賢)

近ごろ色々な出来事がおこり、聞きたくない!見たくない!知りたくない!!事が多すぎて、せめて厄病祭り  
で家族の皆、地域から：日本の中から一年の「無病息災」を祈願。近くの方々から昔を思い出したとの事  
話題になりましたか?2月

# 「厄病祭り」

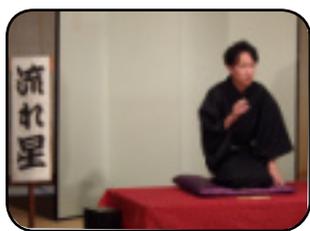
# みんな 「ホツ笑おう!! 寄席」



3日は節分で鬼を出し、2月8日には厄病祭り。鬼は病、災難、厄のこびるにして行つてくれたと思います。(個人の思いも含む)  
日々、暖かい日もあれば、風が刺す雪模様ですが、行事を味わいながら春に向かっているのですネ。(二三)



コロナ禍の為の重苦しい日常を笑いで乗り切ろうと、コミュニティ会議では昨年引き続き落語会「ホツとする寄席」を開きました。  
11月24日の中内公民館に続き、12月1日は浮田集会所、12月8日には毒沢公民館での開催でした。  
寄席はいずれも満月亭一座(星鴉代表 北小山田在住)の口演で、浮田会場では約40人の聴衆が来場し、星鴉師の絶妙な間合いの話芸(新作落語)に大きな笑



いで包まれていました。「生まれて初めて生の落語を聞きました」と話す浮田会場に参加した下浮田の60歳代女性は「今日は星鴉さんだけの話でしたがおもしろかったです。他の人(団員)の話も聞いてみたい」と笑顔で帰っていきました。(浩)

# 火防祭

1月22日浮田集会所で、浮田中央公民館主催による「火防祭」が行われました。幸神社宮司の伊藤幸夫さんによる神事の後に、浮田神楽の皆さんを迎えて「御神楽奉納 権現舞」が執り行われました。3年ぶりに地域の方々もまじえての行事となりました。



寒い中、訪れた近くの方は「初めて見ました。権現舞に魅了されました」「久しぶりの火防祭。楽しみにしてました」との声。宮司は、「火の始末、犯罪のない、災害のない、年になつて欲しい。何卒、ご油断な

く過ごされますように」とのお話がありました。いつもなら、この後「直会」があるそうなのですが、コロナ禍なので今回もありませんでした。早く、終息してほしいものです。(郁)



### 地域の話題

## 肥田葉子さん(上浮田)を訪ねました

東京出身で令和2年12月に上浮田に移住された肥田さんは、現在全国各地で開催されるイベントにアコーディオン奏者として出演するほか、ご自宅では定期的なコンサートや歌声喫茶、アコーディオン教室を開いています。

そんな肥田さんに今後の抱負や上浮田の感想をお聞きしました。

きれいに草刈られた田んぼの周りなど上浮田は景色も良く大好きです。私やろうとするコンサートは地域に受け入れてもらえるか最初はとても不安でした。と言うのも掲示板のポスターが剥がされていた事があったからです。でも今はお蔭様で常連の方も増えました。コンサートを開いたのは地域の人が「垣根を取り払う出会いの場、交流の場にして貰えたら良いな」との思いもありましたネ。「爪



を隠している能ある」地区内の人にもゲストで参加してもらおう事も考えています。又、大型モニターを使っての映画会や「アコーディオンに触ってみましょう!」と言う催しはどうか?と聞くことができるだけ沢山の人の演奏と歌声を楽しんでもらいたいと思っています。一つ心配なのは高齢化が進む中、この美しい農地や里山は将来どうなってしまうのだろうかと言う事ですネ。

浮田に点された音楽のチツチャナ灯り。  
みんなの手で大きく育てていきましょう!!  
(浩)

## 「農業委員です。よろしく」

この度花巻市農業委員に欠員が生じたことにより、当地区から新たに上浮田の佐々木和宏さん(65歳)が選任されました。佐々木さんは、長年会社勤務の傍ら家業の農業にも携わるとともに、地域の集会等にも率先して参加するなど、地域の実情や農業に対しての造詣が深い方です。

一月には市の農業委員会に初出席され、委員としての仕事の多さや大変さを肌で感じ、今後の委員活動に決意を新たにしておられました。また認定農業者への登録も検討されているとのこと、地域や農業のため担い手として益々活躍が期待されます。  
(輝)



### リレーエッセー

## 百人一首の思い出

もう七十年ほど前、姉妹で「百人一首」カルタで遊んだ旧正月が思い出される。得意札の決まり字が読まれるや、下句札の取り合いになる。「天つ風雪のかよひ路ふきとじよをとめの姿しばしとどめむ」

父が逸話まじえて教えてくれる百首を丸暗記、小野小町は容色の衰えを、小式部内侍は母の代作疑いに、ピシヤリと返歌、順徳院の『「ももしきや(百敷)：「はももひきじやないんだよ』など、父の教え方は、

一、天智天皇 秋の田の：二、持統天皇 春過ぎて：作者歌セットだった。先日姉が姪を連れてきた。大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」がらみ、源実朝、後鳥羽院の二種すらすら暗唱でおどろいた。

私の好きな歌は「秋風にたなびく雲の絶え間よりもれ出づる月の影のさやけさ」

千年の昔の秋も今も同じなんだなあと。  
(毒沢 平野 洋子)

## ゆるゆると

カントリーヘッジ  
(羊の生垣)

春の訪れの告知を、毎年私はアオゲラのドラミングで受けとる。

大寒波到来直前の朝、キッチン窓ガラスから見える枝が大きく揺れた。鳩より大きめの鳥：背の緑が鮮やか：アオゲラだ！ 幹をつつくドラミングはまだ聴こえてこないけれど、近くにいると伝えてくれた。

窓枠を額縁として裏山斜面をながめている。でつぶりとしたカケスが枝を揺らし、斜面をつつくノビタキの群れ、枝を渡っていくリスとの出会いを愉しむ。

翌朝は外気温氷点下15度、空気はしんと凍てつき鳥の声さえ聞こえない。リスは木のムロのなかで丸く眠り、小さな鳥たちが身を寄せ合う姿を思い描く。厳しい寒さのこの冬をいっしょに持ちこたえようね、とつばやくのは自分への励ましか：。春待ち遠しく恋する日々、長きに続くこの冬。  
(山本 実紀)

# 花巻市農業賞 受賞

中内の佐々木健一さん(75歳)は2月4日に行われた令和4年度花巻市農業振興大会に於いて、第16回花巻市農業賞(営農部門)を受賞されました。

高齢化により、農業を離農される方が増える中、耕作放棄を無くすために農地を引き受け、地域の農地を守り続けるとともに、この中山間地に於いて意欲的に規模拡大を図り、環境に配慮したコメ作りにより農業を盛り立てた功績によるものです。今後のさらなる活躍を祈念いたします。

(輝)



# シヤフル ボード大会



2月4日、浮田集会所講堂にて、8チームが参加した3年ぶりにシヤフルボード大会が開催されました。

この競技は、(ディスクのどこに当たったら、どこに弾けるか!)狙いを定めて、計算通りに上手くいった時の楽しさが魅力。また、体の負担が少なく適度な運動量があるので、年齢・男女問わず楽しめることです。白熱した対戦の結果は次の通りでした。

- 優勝 千葉 隼夫
- 準優勝 佐々木 次男
- 第三位 伊藤 孝夫
- 伊藤 建子
- 千葉 テル子
- 藤葉 子
- 伊藤 養子
- 藤葉 子

(多)

# 事務局だより 「遊だ報より」

機械の貸し出しについて  
現在浮田振興センターでは3種類の機械の貸し出しを行っています。  
○雑草刈機(ブルモアー草刈り幅80cm)  
公共的な使用に對し貸し出すこととしております。使用後は掃除をしてお返しください。



○除雪機(除雪幅80cm)  
振興センターから運び使用します。  
ローターの安全ピン(ロックボルト)が切れた場合は予備のピンと交換願います。(実費負担1本300円)  
※オーガ(雪を削る部分)ブローア(雪を跳ね上げる部分)それぞれ違うピンです。



○薪割り機(破砕能力10t)  
玉切りした木をお持ちいただき、割って持ち帰る方法とします。

使用料は草刈り機…実働時間30分毎200円。除雪機、薪割り機は無料でお使いいただけます。いずれの機械も燃料(ガソリン)は満タン返します。

ベトナムの事前申し込みをきくようお願いします。

(輝)



# 編集後記

10年に一度とされる今シーズン最強の寒波が1月下旬に襲来した日本列島、沖縄を除いてどこも冷凍庫状態でした。2月も寒さが続くようですが暖かい日も交互に訪れ、3月になると冬から春への移り変わりは急ピッチで進むようです。桜の開花も平年より早いとか。桜の開花予想によると、高知が3月21日で残念ながら二番手。全国トップはなんと東京で、20日の開花を予想している気象会社も。全国の天気予報の的中率は82%を超えるようです。から、東京からソメイヨシノの開花がスタートするかもしれないですね。

(千田)

- 編集委員長 平野 浩一(宮田)
- 編集長 山本 実紀(毒沢)
- 編集委員 山口 友恵(宮田)
- 千葉 三恵(中内)
- 多田 辰雄(上浮田)
- 千田 浩志(毒沢)
- 小田島 賢志(下浮田)
- 渡辺 郁美(中内)
- 題字 千葉 稔(下浮田)
- 事務局 藤井 輝雄(中内)
- 小田島 多賀子(下浮田)